

品名	Switch-M24G	商品仕様書	401-26240-SP01
品番	MN26240		全9 No.1

1. 定格・環境条件

1-1. 定格入力電圧	AC100V、 50/60Hz、 1.5A
1-2. 消費電力	定常時最大46W、最小19W
1-3. 動作環境	動作温度範囲 0~50℃ 動作湿度範囲 20~80%RH（結露なきこと）
1-4. 保管環境	保管温度範囲 -20~70℃ 保管湿度範囲 10~90%RH（結露なきこと）
1-5. 適合規格	ネットワーク・インタフェース IEEE802.3 10BASE-T 準拠 IEEE802.3u 100BASE-TX 準拠 IEEE802.3ab 1000BASE-T 準拠 電磁放射 VCCI クラスA
1-6. 耐性	静電気放電（ESD） : IEC61000-4-2 (10KV) 放射電磁妨害 : IEC61000-4-3 Level 2 電氣的ファストトランジエントバースト : IEC61000-4-4 Level 2 電氣的サージ : IEC61000-4-5 Level 3 (AC line) 耐伝導ノイズ性 : IEC61000-4-6 Level 2 電源周波数イミュニティ : IEC61000-4-8 Level 4 瞬停/電圧変動 : IEC61000-4-11

2. 形 状

2-1. 形状及び材料・色彩	添付商品仕様図による
2-2. 質量（重量）	3,500g

3. 機能（共通）

3-1. ネットワーク接続	ツイストペアポート：RJ45コネクタ26ポート IEEE802.3 10BASE-T 準拠 IEEE802.3u 100BASE-TX 準拠 IEEE802.3ab 1000BASE-T 準拠 伝送速度：10/100/1000Mb/s 全/半二重 適合ケーブル：ツイスト・ペア・ケーブル (EIA/TIA568カテゴリ-5相当以上) 最大伝送距離：100m オートネゴシエーション機能：通信速度・全半二重を自動認識 設定により10Mb/s、100Mb/sおよび全二重、半二重を固定可能 SFP拡張ポート：4ポート ※上記1000BASE-T対応ツイストペアポートとの選択利用 オプション：SFP-1000SX SFPモジュール（MN54021） SFP-1000LX SFPモジュール（MN54023） SFP-LX40 SFPモジュール（MN54025）
3-2. 非同期端末接続	コンソール・ポート：9ピンD-subコネクタ 1ポート 通信方式：RS-232-C（ITU-TS V.24）準拠 エミュレーションモード：VT100 通信条件：9600b/s、8bit、ノンパリティ ストップビット 1

作成日	平成 20年 1月 30日	e-ネットワークソリューション事業本部 スイッチ商品事業部
改定日	平成 21年 12月 21日	

品名	Switch-M24G	商品仕様書	401-26240-SP01														
品番	MN26240		全9 No.2														
<table><tr><td>3-3. LED表示</td><td>(1) 電源 LED (PWR) 緑点灯: 電源ON (2) 自己診断LED (STATUS) 緑点灯: システム正常稼働 橙点灯: システム起動中 橙点滅: システム障害 (3) ポートLED LINK/ACT. (ポート1~26) 緑点灯: 100Mb/sでリンクが確立 橙点灯: 10Mb/sでリンクが確立 緑点滅: 100Mb/sでパケット送受信 橙点滅: 10Mb/sでパケット送受信 消灯: 端末未接続 FULL/COL. (ポート1~26) 緑点灯: 全二重で動作 橙点灯: 半二重で動作 橙点滅: 半二重でコリジョン発生中 消灯: 端末未接続 GIGA (ポート1~26) 青点灯: 1Gb/sでリンクが確立 青点滅: 1Gb/sでパケット送受信 消灯: 100Mb/s、10Mb/sでリンクが確立 または端末未接続</td></tr><tr><td>3-4. カスケード接続</td><td>すべてのポートがMDI/MDI-Xに自動的に対応 (固定設定可能) 通信条件を固定に設定したポートは、MDI-Xになります。</td></tr><tr><td>3-5. 再起動</td><td>ソフトウェアから以下の3つのモードでリセット可能 (1) ウォームスタート (2) 工場出荷時に戻るリセット (3) リブートタイマー機能によるリセット</td></tr><tr><td>3-6. エージェント仕様</td><td>管理用プロトコル: SNMP V1/V2 (RFC1157) TELNET (RFC854) HTTP (RFC2616) ソフトウェア・ダウンロード用プロトコル: TFTP (RFC783) 装備するMIB: MIB II (RFC1213) SNMPv2-MIB (RFC1907) RMON-MIB (RFC2819) (グループ1, 2, 3, 9) BRIDGE-MIB (RFC1493) P-BRIDGE-MIB (RFC2674) Q-BRIDGE-MIB (RFC2674) IF-MIB (RFC2233) RADIUS-AUTH-CLIENT-MIB (RFC2618) IEEE 802.1X MIB IEEE802.3ad MIB RSTP-MIB</td></tr><tr><td>3-7. 初期設定</td><td>以下の方法によって管理用パラメータの初期設定が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの設定 (2) telnet接続した遠隔端末からの設定</td></tr><tr><td>3-8. スイッチの管理</td><td>以下の方法によってスイッチの管理が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの管理 (2) telnetとTCP/IPネットワーク接続を使用した遠隔端末からの管理 (3) SNMPマネージャによる管理 (4) Webによる管理</td></tr><tr><td>3-9. その他</td><td>TFTP Client (ソフトウェアアップグレード、設定情報の保存・読込) Syslog Client (Syslogサーバへのシステムログ送信) 電源コード掛けブロック (電源コードの抜け防止)</td></tr></table>				3-3. LED表示	(1) 電源 LED (PWR) 緑点灯: 電源ON (2) 自己診断LED (STATUS) 緑点灯: システム正常稼働 橙点灯: システム起動中 橙点滅: システム障害 (3) ポートLED LINK/ACT. (ポート1~26) 緑点灯: 100Mb/sでリンクが確立 橙点灯: 10Mb/sでリンクが確立 緑点滅: 100Mb/sでパケット送受信 橙点滅: 10Mb/sでパケット送受信 消灯: 端末未接続 FULL/COL. (ポート1~26) 緑点灯: 全二重で動作 橙点灯: 半二重で動作 橙点滅: 半二重でコリジョン発生中 消灯: 端末未接続 GIGA (ポート1~26) 青点灯: 1Gb/sでリンクが確立 青点滅: 1Gb/sでパケット送受信 消灯: 100Mb/s、10Mb/sでリンクが確立 または端末未接続	3-4. カスケード接続	すべてのポートがMDI/MDI-Xに自動的に対応 (固定設定可能) 通信条件を固定に設定したポートは、MDI-Xになります。	3-5. 再起動	ソフトウェアから以下の3つのモードでリセット可能 (1) ウォームスタート (2) 工場出荷時に戻るリセット (3) リブートタイマー機能によるリセット	3-6. エージェント仕様	管理用プロトコル: SNMP V1/V2 (RFC1157) TELNET (RFC854) HTTP (RFC2616) ソフトウェア・ダウンロード用プロトコル: TFTP (RFC783) 装備するMIB: MIB II (RFC1213) SNMPv2-MIB (RFC1907) RMON-MIB (RFC2819) (グループ1, 2, 3, 9) BRIDGE-MIB (RFC1493) P-BRIDGE-MIB (RFC2674) Q-BRIDGE-MIB (RFC2674) IF-MIB (RFC2233) RADIUS-AUTH-CLIENT-MIB (RFC2618) IEEE 802.1X MIB IEEE802.3ad MIB RSTP-MIB	3-7. 初期設定	以下の方法によって管理用パラメータの初期設定が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの設定 (2) telnet接続した遠隔端末からの設定	3-8. スイッチの管理	以下の方法によってスイッチの管理が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの管理 (2) telnetとTCP/IPネットワーク接続を使用した遠隔端末からの管理 (3) SNMPマネージャによる管理 (4) Webによる管理	3-9. その他	TFTP Client (ソフトウェアアップグレード、設定情報の保存・読込) Syslog Client (Syslogサーバへのシステムログ送信) 電源コード掛けブロック (電源コードの抜け防止)
3-3. LED表示	(1) 電源 LED (PWR) 緑点灯: 電源ON (2) 自己診断LED (STATUS) 緑点灯: システム正常稼働 橙点灯: システム起動中 橙点滅: システム障害 (3) ポートLED LINK/ACT. (ポート1~26) 緑点灯: 100Mb/sでリンクが確立 橙点灯: 10Mb/sでリンクが確立 緑点滅: 100Mb/sでパケット送受信 橙点滅: 10Mb/sでパケット送受信 消灯: 端末未接続 FULL/COL. (ポート1~26) 緑点灯: 全二重で動作 橙点灯: 半二重で動作 橙点滅: 半二重でコリジョン発生中 消灯: 端末未接続 GIGA (ポート1~26) 青点灯: 1Gb/sでリンクが確立 青点滅: 1Gb/sでパケット送受信 消灯: 100Mb/s、10Mb/sでリンクが確立 または端末未接続																
3-4. カスケード接続	すべてのポートがMDI/MDI-Xに自動的に対応 (固定設定可能) 通信条件を固定に設定したポートは、MDI-Xになります。																
3-5. 再起動	ソフトウェアから以下の3つのモードでリセット可能 (1) ウォームスタート (2) 工場出荷時に戻るリセット (3) リブートタイマー機能によるリセット																
3-6. エージェント仕様	管理用プロトコル: SNMP V1/V2 (RFC1157) TELNET (RFC854) HTTP (RFC2616) ソフトウェア・ダウンロード用プロトコル: TFTP (RFC783) 装備するMIB: MIB II (RFC1213) SNMPv2-MIB (RFC1907) RMON-MIB (RFC2819) (グループ1, 2, 3, 9) BRIDGE-MIB (RFC1493) P-BRIDGE-MIB (RFC2674) Q-BRIDGE-MIB (RFC2674) IF-MIB (RFC2233) RADIUS-AUTH-CLIENT-MIB (RFC2618) IEEE 802.1X MIB IEEE802.3ad MIB RSTP-MIB																
3-7. 初期設定	以下の方法によって管理用パラメータの初期設定が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの設定 (2) telnet接続した遠隔端末からの設定																
3-8. スイッチの管理	以下の方法によってスイッチの管理が可能 (1) コンソール・ポートに接続された非同期端末からの管理 (2) telnetとTCP/IPネットワーク接続を使用した遠隔端末からの管理 (3) SNMPマネージャによる管理 (4) Webによる管理																
3-9. その他	TFTP Client (ソフトウェアアップグレード、設定情報の保存・読込) Syslog Client (Syslogサーバへのシステムログ送信) 電源コード掛けブロック (電源コードの抜け防止)																
作成日	平成 20年 1月 30日	e-ネットワークソリューション事業本部 スイッチ商品事業部															
改定日	平成 21年12月 21日																

品名	Switch-M24G	商品仕様書	401-26240-SP01
品番	MN26240		全9 No.3

4. 搭載機能

4-1. スイッチ機能	スイッチング方式 : ストア アンド フォワード スイッチング容量 : 52.0Gbps パケット転送能力 : 1,488,000pps / ポート (1000Mb/s) : 148,800pps / ポート (100Mb/s) : 14,880pps / ポート (10Mb/s) MACアドレステーブル : 8Kエントリー / ユニット バッファ : 512Kバイト エージング : 300~600秒 (デフォルト値)
4-2. スパニングツリー	IEEE802.1d スパニングツリープロトコル準拠 IEEE802.1w ラピッドスパニングツリープロトコル準拠 BPDUガード機能サポート
4-3. VLAN	IEEE802.1q タギングVLANプロトコル準拠 ポートVLAN VLAN登録数 256個 (デフォルトも含む) インターネットマニション機能サポート
4-4. リンク アグリゲーション	IEEE802.3ad リンクアグリゲーション機能サポート 最大13グループ構成可能 (1グループ最大8ポート)
4-5. QoS	IEEE802.1p 8段階の優先制御をサポート スケジューリング方式 Priority Queueing (PQ: 絶対優先スケジューリング)
4-6. ポート モニタリング	対象となるポートのトラフィックを指定したポートにコピーして送信可能
4-7. マルチキャスト	IGMP Snooping機能サポート IGMP Querier機能サポート マルチキャストフィルタリング機能サポート
4-8. 認証機能 サポート	IEEE802.1xポートベース認証機能サポート IEEE802.1xを用いたMACベース個別認証機能 IEEE802.1xを用いたダイナミックVLAN機能 IEEE802.1xを用いたゲストVLAN機能 登録MACアドレス強制認証機能 (EAP-MD5 / TLS / PEAP 認証方式)
4-9. アクセス コントロール	以下のパラメータでアクセス制御が可能 (1) IPアドレス (Source または Destination) (2) MACアドレス (Source または Destination) (3) TCP/UDPポート番号 (Source または Destination) (4) VLAN ID (5) 802.1p Priority (6) DSCP (7) Protocol (8) ICMPタイプ (9) TCP SYN Flag
4-10. リングプロトコル	リング構成で冗長化が可能

5. Web 管理機能

5-1. ソフトウェア仕様	
5-1-1. ソフトウェア バージョン	Boot Code: Ver.1.0.0.06 以降 Runtime Code: Ver.2.0.0.12 以降
5-1-2. 対応ブラウザ	Internet Explorer 6.0 (JRE1.6.0_07で確認しています。)
5-1-3. 文字コードセット	Shift_JIS

作成日	平成 20年 1月 30日	e ネットワークソリューション事業本部 スイッチ商品事業部
改定日	平成 21年 12月 21日	

品名	Switch-M24G	商品仕様書	401-26240-SP01
品番	MN26240		全9 No.4

5-2. 設定機能	
5-2-1. スイッチング 設定	・管理情報設定 ・IP設定 ・SNMP設定 ・ポート設定 ・アクセス条件設定 ・ユーザ名/パスワード設定 ・MACアドレステーブル設定 ・SNTP設定 ・VLAN設定 ・リンクアグリゲーション設定 ・ポートモニタリング設定 ・RSTP（ラビッドスパニングツリー）設定 ・アクセス制御設定 ・QoS設定 ・ストームコントロール設定 ・IGMP Snooping設定 ・ポートカウンタ設定参照 ・ソフトウェアアップグレード設定 ・設定の保存/読み込設定 ・再起動設定 ・システムログ ・設定情報の保存
5-2-2. メールレポート 設定	・メールサーバの設定 ・送信先アカウント（メールアドレス）の設定（最大3アカウント） それぞれにレポートの通知とトラップの通知を選択可能 ・送信元アカウント（メールアドレス）の設定 ・レポート間隔の設定 毎日、毎週、毎月のいずれか ・レポートの内容の設定 ポート情報、トラフィックサマリ、システムログ ・添付ファイルの選択 添付しない、CSV形式、テキスト形式のいずれか ・添付ファイルデータの設定 データ収集間隔 10分毎、30分毎、1時間、3時間、6時間、 1日のいずれか ログの内容 帯域使用率（%）、受信フレーム数、 ブロードキャスト、マルチキャスト コリジョン回数、エラー総数 ポート選択 ・設定後、テストメールを送信する
5-2-3. 時間設定	・端末からの時刻データの転送による時計合わせ（時刻設定ボタン） ・SNTP設定
5-3. モニタ機能	
5-3-1. 基本情報	・システム情報の設定 :稼働時間（sysUpTime）の表示 詳細情報（sysDescr）の表示 管理者（sysContact）の表示 設置場所（sysLocation）の表示 ホスト名（sysName）の表示

作成日	平成 20年 1月 30日	e-ネットワークソリューション事業本部 スイッチ商品事業部
改定日	平成 21年12月 21日	

品名	Switch-M24G	商品仕様書	401-26240-SP01
品番	MN26240		全9 No.5

5-4. グラフィック機能	
5-4-1. ポート ステータス	・ 本体をグラフィック表示し、LEDの表示状態をリアルタイムで確認可能 ・ 更新間隔：20秒
5-4-2. トラフィック グラフ	・ ポートごとのフレーム数、帯域使用率、コリジョン回数、エラー総数の いづれかをグラフ表示 ・ 過去10分間のデータを表示 ・ 更新間隔は20秒 ・ 各項目の切替はボタンで可能

6. コネクタ ピン配置

6-1。ポート1～26

状態	ピンNo.	1	2	3	6	4	5	7	8
MDI-X	信号	BI_DB+	BI_DB-	BI_DA+	BI_DA-	BI_DD+	BI_DD-	BI_DC+	BI_DC-
MDI	信号	BI_DA+	BI_DA-	BI_DB+	BI_DB-	BI_DC+	BI_DC-	BI_DD+	BI_DD-

A diagram of an 8-pin connector. It is a rectangular block with eight pins extending from the top edge, numbered 1 through 8 from left to right. An arrow points to the first pin, labeled "ピンNo.".

6-2。コンソール・ポート

ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
1	NC	6	NC
2	TD	7	NC
3	RD	8	NC
4	NC	9	NC
5	SG		

A diagram of a 9-pin D-sub connector. It is a trapezoidal shape with a D-shaped notch on one side. There are nine pins arranged in two rows: five pins in the top row and four pins in the bottom row. The pins are numbered 1 through 9 from left to right, starting with the top-left pin as 1.

作成日	平成 20年 1月 30日	e-ネットワークソリューション事業本部 スイッチ商品事業部
改定日	平成 21年12月 21日	

品名	Switch-M24G	商品仕様書	401-26240-SP01
品番	MN26240		全9 No.6

7. 設置方法・付属品

7-1. 設置方法	19インチラックへの取り付け
7-2. 付属品	(1) 取扱説明書 : 1冊 (2) CD-ROM : 1枚 (3) 取付金具（19インチラックマウント用） : 2個 (4) ネジ（19インチラックマウント用） : 4本 (5) ネジ（取付金具と本体接続用） : 8本 (6) ゴム足 : 4個 (7) 電源コード : 1本

8. SFP拡張モジュール（オプション）

8-1. SFP-1000SX (品番: MN54021)	光ファイバ・ポート: LCコネクタ（2芯） IEEE802.3z : 1000BASE-SX 準拠 伝送速度: 1000Mb/s 全二重 適合ケーブル: 光ファイバケーブル 50/125μm マルチモードファイバ 62.5/125μm マルチモードファイバ 最大伝送距離: 50/125μm の場合500m 62.5/125μm の場合220m
8-2. SFP-1000LX (品番: MN54023)	光ファイバ・ポート: LCコネクタ（2芯） IEEE802.3z : 1000BASE-LX 準拠 伝送速度: 1000Mb/s 全二重 適合ケーブル: 光ファイバケーブル 10/125μm シングルモードファイバ 最大伝送距離: 10Km
8-3. SFP-LX40 (品番: MN54025) (※1)	光ファイバ・ポート: LCコネクタ（2芯） 伝送速度: 1000Mb/s 全二重 適合ケーブル: 光ファイバケーブル 10/125μm シングルモードファイバ 最大伝送距離: 40Km (※2) (※1) LX40を対向でご使用ください（通信速度1000Mbps） (※2) 光許容損失が-19dB以下でご使用ください

作成日	平成 20年 1月 30日	e-ネットワークソリューション事業本部 スイッチ商品事業部
改定日	平成 21年 12月 21日	

品名	Switch-M24G	商品仕様書	401-26240-SP01
品番	MN26240		全9 No.7

9. 安全確保のための使用上の禁止事項

下記の項目を満足されていない場合のトラブルに関しては、責任を負いかねます。
本商品のご使用に際しては、以下の点を遵守ください。

- (1) 交流100V以外では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- (2) 必ずアース線を接続してください。
感電や誤動作の原因となることがあります。
- (3) 電源コードを電源ポートにゆるみ等がないよう、確実に接続してください。
感電や誤動作の原因となることがあります。
- (4) 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電・故障の原因となることがあります。
- (5) 雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れないでください。
感電の原因となることがあります。
- (6) この装置を分解・改造しないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- (7) 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。
- (8) 開口部やツイストペアポート、SFP拡張スロットから内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- (9) ツイストペアポートに10BASE-T／100BASE-TX／1000BASE-T以外の機器を接続しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- (10) SFP拡張スロットに別売のSFPモジュール（SFP-1000SX／SFP-1000LX／SFP-LX40）以外を実装しないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- (11) コンソールポートに別売のコンソールケーブルMN72002DSUB9ピン-DSUB9ピンコンソールケーブル以外を接続しないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- (12) 故障時はコンセントを抜いてください。
電源を供給したまま長期間放置すると火災の原因となることがあります。
- (13) この装置を火にくべないでください。爆発・火災の原因となることがあります。
- (14) ツイストペアポート、SFP拡張スロット、コンソールポート、電源コード掛けブロックで手などを切らないようご注意の上取り扱いってください。

作成日	平成 20年 1月 30日	e-ネットワークソリューション事業本部 スイッチ商品事業部
改定日	平成 21年 12月 21日	

品名	Switch-M24G	商品仕様書	401-26240-SP01
品番	MN26240		全9 No.8

10. 使用上の注意事項

- (1) 商用電源は必ず本装置の近くで、取り扱いやすい所からお取りください。
- (2) この装置を設置・移動する際は、電源コードをはずしてください。
- (3) この装置を清掃する際は、電源コードをはずしてください。
- (4) 落下などの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- (5) RJ45コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグの金属端子、及びSFP拡張スロット内部の金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。
静電気により故障の原因となることがあります。
- (6) コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。
静電気により故障の原因となることがあります。
- (7) コンソールポートにコンソールケーブルを接続する際は、事前にこの装置以外の金属製什器等を触って静電気を除去してください。
- (8) 以下場所での保管・使用はしないでください。
(仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください)
 - － 水などの液体がかかる恐れのある場所、湿気が多い場所
 - － ほこりの多い場所、静電気障害の恐れのある場所（じゅうたんの上など）
 - － 直射日光が当たる場所
 - － 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所
 - － 振動・衝撃が強い場所
- (9) この装置の通風口をふさがないでください。通風口ふさぐと内部に熱がこもり、誤動作の原因となることがあります。
- (10) 仕様限界をこえると誤作動の原因となりますので、ご注意ください。
- (11) 別売のSFP拡張モジュール以外を実装した場合、動作保証はいたしませんので、ご注意ください。
- (12) 内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。

作成日	平成 20年 1月 30日	e ネットワークソリューション事業本部 スイッチ商品事業部
改定日	平成 21年 12月 21日	

品名	Switch-M24G	商品仕様書	401-26240-SP01
品番	MN26240		全9 No.9

1 1。品質保証について

本商品の品質管理には最大の注力をいたしますが、

- (1) 万一、本商品の品質不良が原因となり、人命並びに財産に多大の影響が予測される場合には、本仕様書記載の特性・数値に対し余裕を持たれ、かつ二重回路等の安全対策を組み込んでいただくことを、製造物責任の観点からお勧めします。
- (2) 本商品の品質保証期間はお買上げ日より1年間とし、本仕様書に記載された項目とその範囲内とさせていただきます。本商品に弊社の責による瑕疵が明らかになった場合には、誠意をもって代替品の提供、または瑕疵部分の交換、修理を本商品の納入場所で速やかに行わせていただきます。

但し、次の場合はこの保証の対象から除かせていただきます。

- 1) 本商品の故障や瑕疵から誘発された他の損害の場合。
- 2) お買上げ後の取扱い、保管、運搬（輸送）において、本仕様書記載以外の条件が本商品に加わった場合。
- 3) お買上げ時までに実用化されている技術では予見することが不可能であった現象に起因する場合。
- 4) 火災・地震・洪水・火災・紛争など弊社に責のない自然あるいは人為的な災害による場合。

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。

お客様の取扱説明書に従わない操作に起因する損害および本商品の故障・誤動作などの要因によって通信の機会を逸したために生じた損害については、その責任は負いかねますのでご了承ください。

保証期間内でも次の場合には原則として無料修理対象外にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- (ロ) お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
- (ニ) 保証書の提示がない場合
- (ホ) 保証書にお買上げ日、お客様名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

作成日	平成 20年 1月 30日	e-ネットワークソリューション事業本部 スイッチ商品事業部
改定日	平成 21年 12月 21日	